

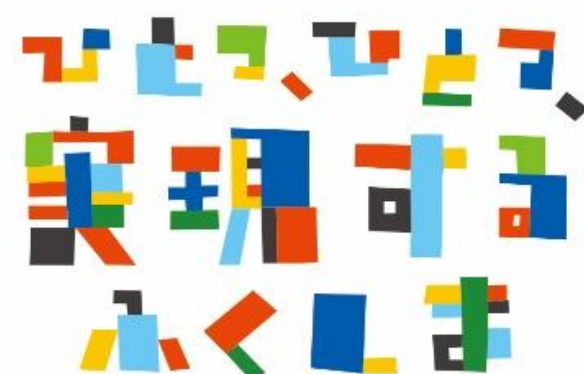
応援職員広報誌

with Fukushima

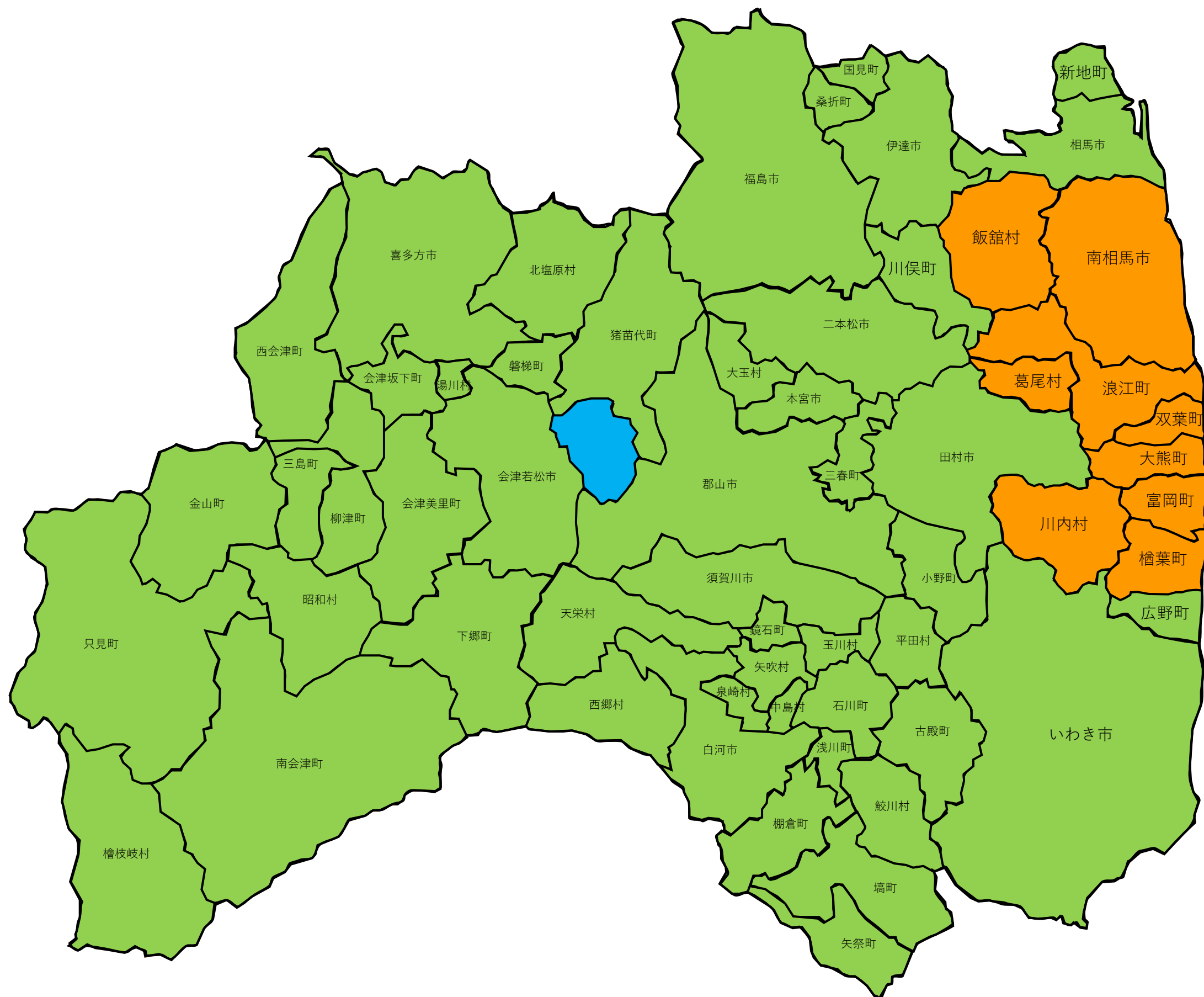


「十日市祭」(写真提供：浪江町)

令和8年6月
福島県市町村行政課



福島県 市町村分布図



※応援職員派遣先市町村は、オレンジ色で着色しています。

東日本大震災と原発事故から15年の歳月が過ぎました。

未だ故郷に戻れず、避難生活を余儀なくされている方が2万人以上いる一方、被災市町村では復興に向けた取組が着実に進んでいます。

本誌では、避難地域の再生、被災者の生活再建、風評被害、風化などの課題が山積している中、復興のために御尽力いただいている応援職員の方々の業務や福島県への思いなどをご紹介します。

目次

I 応援職員紹介

南相馬市	P1
檜葉町	P1~2
富岡町	P2~4
川内村	P5
大熊町	P5~7
双葉町	P7~10
浪江町	P10~21
飯舘村	P21

記載内容

派遣市町村

- ①派遣元団体(出身地)
- ②所属課(業務内容等)
- ③派遣期間または任期

写真

自己紹介(派遣の動機など)

氏名

II information

ご案内	P22
-----	-----

南相馬市



あらい ゆうき
新井 友貴

- ①千葉県千葉市
- ②健康スポーツ課(スポーツ推進委員関係)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

東日本大震災より15年が経ち、被災地の実態をこの目で見ておきたいという気持ちがあったこと、もともとスポーツ関係の業務を希望していたことから、今回の派遣を志望しました。

以前の業務とは全く違った仕事で悪戦苦闘する日々を過ごしていますが、職場の優しい職員の方々に支えられ、業務に取り組んでいます。

短い任期ですが、福島を堪能し、少しでも南相馬市の復興に貢献できたらと思っています。

檜葉町



やまだ じゅんゆき
山田 淳之

- ①神奈川県
- ②建設課(下水道工事の設計、施工及び監督等)
- ③令和8年4月2日～令和9年3月31日まで

神戸市で阪神淡路大震災を体験し、全国の皆様に大変お世話になりました。現役時代の大槌町での応急給水を皮切りに、神戸市を定年退職と同時に宮城県南三陸町に派遣されました。その後、兵庫県の外郭団体で県内自治体の水道施設の更新の設計・積算・工事監理の支援を行ってきました。

その間、大病もしましたが、福島県の復興に関わりたくと神奈川県の募集に応募し、檜葉町で下水道の仕事に関わることになりました。

役場ではG1(72歳)になると思いますが、仕事が忙しいのは苦になりません。体調管理に気を付け、1年間は元気で働けるように努力したいと思っています。

檜葉町



たけい ひろし
竹井 裕志

- ①神奈川県
- ②建設課(公営住宅の管理)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

檜葉町に赴任し2年目となりました。仕事にも慣れてきて少し余裕も出てきた時期でもあります。

少しずつではありますが、周りの景色も昨年とは違って見られる部分もあり今まで気が付かなかったことが、気が付くようになり仕事でも改善できるところは改善して行きたいと思っています。

すこしでも町の方々が便利になるように工夫しながら10年・20年先を見据えた仕事の進め方を意識し町に貢献できるように取り組みたいと思っています。

今年は、もっと福島県を知りたいと思い会津地方に出向いて鶴ヶ城を桜の時期に訪問し景観を楽しみました。また、戊辰戦争での歴史的背景を知り会津武士道に刺激を受けました。

これからは、もっと福島を身近に感じながら何が出来るか、何をすべきかを考えながら福島の復興に貢献したいと思っています。

檜葉町



すがの なおよし
菅野 直義

- ①福島県（秋田県由利本荘市）
- ②建設課（道路、河川工事の積算、発注、監理業務）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

私の先祖のルーツといわれる福島県に導かれるように赴任して早くも6年目となり、町と職場の雰囲気にもなれて粛々と業務を進めている状況です。

今後の目標としては、自身の座右の銘である、よりスピード感を持ち、ワンデイレスポンスで物事に対応し、町の復興に貢献したいと思います。

檜葉町



おいかわ ひでとし
及川 英俊

- ①神奈川県（岩手県盛岡市）
- ②政策企画課（広報情報係）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

檜葉町への派遣が2年目になりました。昨年に引き続き、広報誌の毎月発行業務を担当させていただきます。1年目には気づくことができなかつたことを見つけて、業務に役立てつつ自身の生活も楽しむことができらうれしいです。

昨年末、不覚にもインフルエンザに罹患してしまい、身体の回復に相当な時間を要しました。つくづく、健康こそが一番だと痛感しました。何よりも健康に留意しながら、安定的な職務遂行に努めたいと思います。

富岡町



さとう こうき
佐藤 康樹

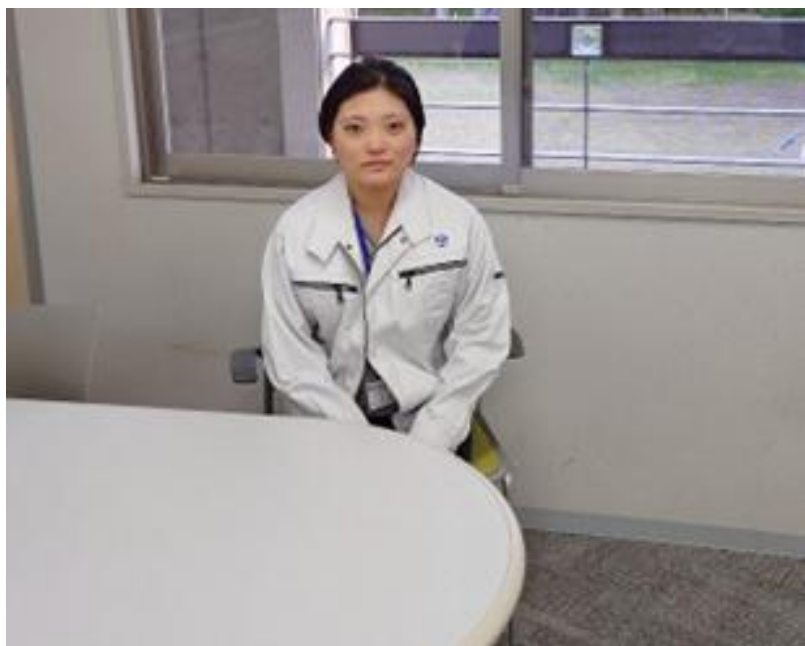
- ①青森県青森市
- ②健康づくり課（精神保健事業、歯科保健事業等）
- ③令和8年4月1日～令和10年3月31日まで

震災時は隣の栃木県に住んでいましたが、日常が簡単に崩れていく様子を肌で感じたことを今でも覚えています。その経験から被災地支援や復興に関心を持ちつつも長い間、一歩が踏み出せずに燻っていましたが思い切って応募しました。

職場の皆様があたたかく迎えてくださり、町の和やかな雰囲気や豊かな自然、温暖な気候も相まって慣れるのは早かったです。

富岡町の復興や町民の健康維持のために自分に何ができるのかを日々考え、実践していきたいと思っています。

富岡町



よこみぞ はるき
横溝 晴紀

- ①東京都新宿区
- ②地域創生課とみおか暮らし推進係(移住・定住の促進)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

東日本大震災からの復興の力になれたらと思います、被災地派遣に応募しました。現在は移住・定住の促進業務に携わっています。富岡町の魅力を多くの方に知っていただけよう、精一杯取り組んでいきたいです。

仕事はもちろん、福島豊かな自然や文化、旬の食べ物に触れることも楽しみにしています。日々の経験を通して地域の魅力を深く感じながら、復興と魅力発信の一助となれるよう努めてまいります。

富岡町



おかやす りょうたろう
岡安 綾太郎

- ①東京都新宿区(東京都練馬区)
- ②地域創生課(心の復興事業、移住・定住の促進)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

新宿区の所属長よりお声掛けいただき、貴重な機会のため、参加することに決めました。

富岡町は空気がきれいで素敵な場所です。不便な印象でしたが、生活してみるとあまり気になることはありませんでした。

配属先である地域創生課の雰囲気は、元気で明るい印象です。

富岡町に貢献できるよう、精一杯取り組んで参ります。

富岡町



ひらこうち まもる
平河内 守

- ①神奈川県(福島県郡山市)
- ②都市整備課都市計画係
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

富岡町は震災翌年から環境省在籍中において、除染工事や住民対応等で、富岡町役場の方々には大変お世話になりました。

その恩返しも兼ねて、富岡町の復興のお役に立てればと思います。派遣を希望いたしました。着任して約1ヶ月となりますが職場の雰囲気も良く上司・同僚の方々へも相談しやすい環境で仕事をさせていただいております。

富岡町



さとう まさみ
佐藤 正美

- ①神奈川県(神奈川県小田原市)
- ②都市整備課建設係
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

東日本大震災復興のお手伝いをしたくて応募し派遣9年目になります。
帰還困難区域を抱えている自治体を希望し今年より富岡町勤務となりました。
道路改良工事を担当しますが浪江町での5年間の経験を生かして浜通りの復興の一助に努めていきたいと思ひます。
地理把握のため休日に町道を隅々まで歩いています。

富岡町



のほら とよたか
野原 豊孝

- ①福島県(福島県いわき市)
- ②都市整備課建設係(道路、河川整備事業)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

3年前に仕事をリタイアし勤務地の仙台市から出身地のいわき市に帰郷しました。帰郷後、新聞や報道で相双地区の住民帰還が遅れているとの報道に触れ、思っていた以上の原子力災害の奥深さを知りました。
昨年、福島県の任期付き職員募集を広報誌で知り、少しでもまちづくりや賑わい創出の役に立てないかと思ひ応募しました。微力ではありますが、富岡町の方々に喜んでいただけるよう業務に励んでいきたいと思ひています。よろしくお願ひします。

富岡町



はら やすお
原 康夫

- ①福島県(神奈川県)
- ②都市整備課下水道係(公共下水道の維持管理)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

福島県は平成28年度から4年間、いわき建設事務所と檜葉町で任期付の派遣経験があります。
昨年は能登半島地震・豪雨災害の被災地派遣で石川県輪島市にいました。
職場の雰囲気は大変良く、公共下水道の維持管理はこれまでの経験を活かしながら業務に取り組んでいます。
趣味のランニング、軽登山、史跡巡り、スタンプラリーなど、健康第一で福島県を思う存分楽しみたいと思ひています。

川内村



いづか ゆか
飯塚 由佳

- ①福島県(岐阜県下呂市)
- ②保健福祉課(保健師業務)
- ③平成28年4月1日～令和9年3月31日まで

福島県川内村に勤務をして10年になります。担当は主に母子保健をしていますが、それに限らず成人保健や予防接種等にも携わっています。

所属している課では、介護、福祉、保健と3分野が一緒になっており、協力しながら業務を行っています。

大熊町



湯豆腐や家族は遠く湯気の先 幸英

山形県最上町から尾花沢市に抜ける「山刀伐(なたぎり)峠」にて

ほそかわ ゆきひで
細川 幸英

- ①福島県(愛媛県松山市)
- ②復興事業課(下水道係)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

松山市を定年退職の翌日気仙沼市に復興支援に赴き7年間勤務、津波被害の復旧復興が終了したことから、原発事故の実態が知りたくて福島県の採用試験を受け大熊町役場で勤務し今日に至る。

俳句結社「渋柿」に所属し9年前から「草鞋・作務衣・菅笠」にて奥の細道2,400kmを6年掛けて歩いた。併せて「ゆきひでの奥の細道紀行」を月刊渋柿に70箇所連載し令和7年4月号で終了した。

東北は広くて風光明媚だ、その歴史や風土に触れ合える事にとっても幸せを感じている。

大熊町



おざわ ひろみつ
小沢 裕充

- ①福島県(千葉県木更津市)
- ②復興事業課
(町道の新設改良及び維持工事の計画、設計及び監督業務)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

私は、福島県任期付職員として採用される前は、9年間にわたり宮城県気仙沼市で市街地整備の復興事業に携わっていました。いままでの経験を元に、微力ながら福島県の復興にお役に立ちたいと思い志望しました。

福島の皆さんが一日も早く元に戻れるよう、しっかりとライフラインづくりをしていきたいと思っています。

大熊町



すずき かつあき
鈴木 勝明

- ①福島県（生まれ：本宮市、現在：郡山市）
- ②復興事業課建設係
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

今まで福島県職員（任期付）として平成24年度から令和6年まで、主に道路維持管理、河川維持管理、各工事の監督員として勤務していました。

今回は福島県職員（任期付市町村派遣）として、新たな環境での変化を楽しみつつ、日々の業務をチーム大熊の一員として復興に尽力して取り組んでまいります。

余暇はジョキング、登山等をして楽しんでいます。

大熊町



すえよし まさる
末吉 優

- ①新潟県（神奈川県）
- ②復興事業課（道路工事の設計、積算、監理等）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

新潟県の任期付き職員として、4月から大熊町でお世話になっています。

7年前まで神奈川県の任期付き職員として、福島県や福島県内の市町村で勤務していました。

久しぶりの福島県での生活で、以前に比べて飲食店がずいぶん増えてきたなと感じました。休みの日には、色々な店に行き福島の美味しいものを食べたいと思っています。

大熊町



いとう ゆうき
伊藤 裕貴

- ①東京都大田区（宮城県仙台市）
- ②ゼロカーボン推進課（PR活動、補助金業務等）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

東京都大田区からの派遣で、大熊町に赴任しました。地域の皆様、職員の皆様にあたたかく迎え入れていただき、いきいきと日々の業務に取り組んでいます。

趣味の旅行で、常磐線の代行バスや、全線復旧直後の特急ひたちの車窓から景色を眺めて、なにかできなにかと考えていました。力強く復興し、意欲的なまちづくりに取り組む姿勢に感銘を受け、日々勉強させていただきます。

このご縁を大切に、地域に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいります。

大熊町



(図書館機能を持つ社会教育複合施設建設予定地前にて撮影)

きむら まさと
木村 正人

- ①高知県(埼玉県)
- ②教育委員会 生涯学習課
(図書館再開準備、社会教育複合施設整備)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

4月から派遣職員として着任しました。震災以来休館している図書館の再開準備に携わっています。本との出会いはもちろん、住民が気軽につどい、笑顔で言葉を交わせる「心の拠点」を築きたいと考えています。新しく生まれ変わる図書館で、来館者の笑顔にお会いできる日を楽しみに、一冊一冊に想いを込め、全力で準備作業に取り組みます。再開を楽しみにお待ちしております。

双葉町



ながぬま はじめ
長沼 一

- ①福島県(福島県郡山市)
- ②建設課(道路事業設計積算監理)
- ③令和8年1月1日～令和8年12月31日まで

福島県任期付職員として2年目を迎え、現在道路管理業務に従事しております。少しずつ町の道路や地形にも詳しくなってきました。

趣味のうつくしま百名山登山は、熊出没情報のため控えていますが、双葉町の帰還困難区域ではサルやキジ、ウリ坊主を連れたイノシシ親子に出会うこともあります。

このご縁に感謝し、町民の皆様の帰還に資するよう、除草や町道維持補修業務に取り組んでまいります。

双葉町



かわなみ たくや
川浪 拓也

- ①東京都葛飾区
- ②教育総務課(教育施設整備に関することなど)
- ③令和6年4月1日～令和9年3月31日まで

派遣されて3年目になりました。日々、浜通りの豊かな自然と美味しい食べ物に癒されています。

初心を忘れず、引き続き新しい学校設置の業務を通じて、そこに通う子どもたちと双葉町の明るい未来に貢献できればと考えています。

今年度もよろしく申し上げます。

双葉町



たけだ しずか
武田 静香

- ①福島県(北海道函館市)
- ②健康福祉課健康づくり係(町民の健康づくり全般)
- ③令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

念願叶い双葉町で働くことになり、2年目となりました。

ようやく業務や町民の皆様にも顔を覚えていただきなんとか頑張っております。当初の思いを継続して、業務が末永くできることを心に抱きながら、精進してまいります。

双葉町



やまぐち しんいちろう
山口 真一郎

- ①福島県(福島県二本松市)
- ②建設課(賃貸住宅整備測量業務委託等)
- ③令和7年11月1日～令和8年10月31日まで

令和7年3月まで相双農林事務所にて、発注者支援の仕事をしてました。朝日新聞に掲載された、双葉町町長の記事を読んだ事で関心を抱き、任期付職員となりました。

双葉町は震災前7,000人位の町、現在は200人位。このことから住宅も少なく、私も富岡町から電車で通勤してます。双葉駅の正面に町役場があり、プレハブ工法で建てられた役場庁舎も、工夫が凝らされて快適です。

新年早々に体験したダルマ市では、震災前の町を想像する事ができました。人生の後半に、双葉町の町づくりに携わることで、町の復興が進むように頑張りたいと思っています。

双葉町



さとう じょうじゅ
佐藤 丈樹

- ①福島県(宮城県東松島市)
- ②戸籍税務課(税務関係)
- ③令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

震災直後、福島市の民間福祉施設で相双地域からの避難者の受け入れを行った経験があり、直近の8年間は南相馬市の任期付き職員(長寿福祉課、農地集積課)をしておりました。

第3期復興・創生期間のスタートを機にあらためて双葉町で働くことになりましたが、実は本格的な浜通り生活は初めて(つい最近まで福島伊達方面から車通勤していた)なので、より被災自治体のリアルを感じつつ仕事に生かしていきたいと思っています!

双葉町



ひぐち としお
樋口 敏男

- ①神奈川県
- ②建設課
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

神奈川県をはじめ今までの派遣で培った技術力を活かし、双葉町の復旧・復興に微力ながら貢献したいと考え、日々の業務を手掛けたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

また、現在富岡町夜の森地区のアパートで暮らしていますので、じっくりと桜を堪能したいです。

双葉町



さわはた こう
澤畑 洸

- ①茨城県東海村
- ②農業振興課兼農業委員会事務局
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

東海村から派遣職員としてまいりました。これまでと異なる生活に慣れない部分も多いですが、職場や地域の皆さまが温かく迎えてくださり、改めて素敵な町だと感じております。チーム双葉の一員として、復興に向けて全力で取り組んでまいります。

また、浜通りに限らず、中通りや会津地方など福島県内を訪れ、美味しい食べ物や豊かな自然も満喫していきたいと思っております。

双葉町



たかまつ のぶひろ
高松 信宏

- ①神奈川県相模原市
- ②復興推進課
(観光交流事業、町営産業交流施設運営管理事務等)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浜通り、風強いですね。赴任して1か月で常磐線の運休にもう何度かやられました。それも含め、新鮮なことが多く日々刺激を受け楽しんでいます。

双葉町は、復興という意味では一番遅れている自治体かもしれません。しかしその分、変化のスピードが一番速い自治体ではないかと感じています。

変化のスピードに置いて行かれず双葉町のために力を尽くし、一方でせっかくの福島県ライフも楽しみながら、頑張りたいと思っております。

双葉町



すずき けいた
鈴木 啓太

①神奈川県相模原市

②健康福祉課

(福祉交流施設の建設、介護施設の管理・解体に関すること)

③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

被災地の復興に向けて少しでもお役に立てたらと思い派遣を希望しました。東北派遣は2回目の経験で、大変貴重な機会をいただけたと感じています。

福島県の広さに圧倒されつつも、地域ごとの特色や歴史に触れながら、出来る限り福島を感じたいと思っています。

介護福祉という慣れない分野であり、まだまだ勉強が必要ですが、少しでも職場の皆様と町のお役に立てるよう頑張っています。

双葉町



たんの あらた
丹野 新

①宮城県仙台市

②復興推進課(復興まちづくり施設の工事監理等)

③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

仙台市で東日本大震災を経験し、多くの応援職員の方々に支えていただきました。その経験から少しでも恩返しができるかと考え、派遣を希望しました。

双葉町の一員として復興に寄り添いながら、町の皆様と協力し前向きに精一杯取り組んでいます。

浪江町



あかほ みつる
赤穂 満

①神奈川県

②生涯学習課(社会体育)

③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

教育委員会生涯学習課社会体育係で体育イベント等の業務を担当しています。

スポーツ関連のイベントを通して、復興を盛り上げていきたいと思っています。

心身の疲れを癒すため、県内の名所・名湯を訪れることが楽しみです。

浪江町



きたごう まり
北郷 真理

- ①福島県いわき市
- ②市街地整備課F-REI立地室(浪江駅西側地区整備業務)
- ③令和8年4月1日～令和8年9月30日

平成31年度に福島県いわき市に入庁し、都市整備課、土木政策課の業務を経験しました。

いわき市では私が入庁した年には、東日本大震災関連の復興事業の殆どが完了していましたが、浪江町では、震災から15年経った今でも復興事業を進めており、町民・職員の皆さまのご苦勞は如何ばかりかと思ひます。

いわき市では、震災以降2度の台風災害を経験しましたが、他自治体から沢山の応援をいただき、復興することができましたので、恩返しをするつもりで業務に励みたいと思ひます。

派遣期間は半年間と短いですが、浪江町での経験を少しでも多く持ち帰ることが出来るよう、日々を大切に過ごしたいと思ひます。

浪江町



むらおか みつあき
村岡 充彬

- ①東京都新宿区
- ②企画財政課(浪江町のDX化の推進)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

派遣元で毎年のように被災地派遣の募集があり、長らく関心を持っていました。今も復興に取り組んでいる被災地のために何かできることがないかと考え、この度派遣事業に応募しました。

浪江町に初めて来て抱いた印象は「自然豊かでのどかなところ」でした。しかし、その一方で震災から15年経った現在でも除染作業が続いていることを知り、震災で負った傷の深さを痛感しました。

微力ではありますが、浪江町の復興という大きな目標の一助となれるように、自身の経験や知識を総動員し、日々業務に取り組んでいます。

浪江町



ふじさわ まさる
藤澤 賢

- ①神奈川県(茨城県)
- ②住民課(環境基本計画等)
- ③令和6年4月1日～令和9年3月31日まで

現在も避難している人たちの帰還に、今までの経験が少しでもお役に立てればと思ひ希望しました。

当たり前ですが、関東の人間から見ると、どこを見回しても山があり、日常的に風が強いと感じます。

趣味の磯釣りやバイクに乗れないのが、少し残念な気がしていますが、いろいろな地場の食べ物、特にフルーツ、酒を楽しみにリフレッシュしております。

浪江町



おおはら りょうま
大原 涼馬

- ①岡山県赤磐市（兵庫県明石市）
- ②産業振興課（新エネルギー推進係）
- ③令和8年4月1日～令和10年3月31日まで

この4月より岡山県赤磐市より派遣されました。ゼロカーボン推進に係る業務を担当することになりました。わからないことが多く日々勉強の毎日ですが、浪江町の力になれるように頑張ります。福島県はお酒も食べ物もおいしく、派遣されて日が浅いですが、食べ過ぎて体が一回り大きくなってしまいました。このペースで行くと、派遣期間が終了するころには人の形を保てなくなるため、自分を抑えながら適度に太りつつ福島県を楽しみたいと思います。

浪江町



むらた きよただ
村田 聖忠

- ①大阪府大阪市
- ②住民課税務管理係
（家屋に関する固定資産税業務・徴収業務）
- ③令和8年4月1日～令和10年3月31日まで

浪江町役場の税務管理係にお世話になっております村田です。派遣の動機は、何か町のために力になりたい。また、この経験は自身の成長にもつながると思い希望をしました。現在お世話になっている職場の雰囲気は、とても良くて上司・同僚の方々にも相談しやすい環境で仕事をさせていただいております。2年間の派遣ですが、浪江町の税務行政の一助になれば幸いです。

浪江町



いそがい ひろし
磯貝 博

- ①神奈川県（東京都町田市）
- ②農林水産課農政係
（野菜等集出荷貯蔵施設整備事業、花卉振興等）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

ここ福島被災地を「役所人生の集大成の地」と考え、令和6年度に復興庁派遣として浪江町に着任、7年度からは神奈川県派遣となり3年目の勤務となりました。野菜等集出荷貯蔵施設・大豆等乾燥調製施設・花き集出荷施設の令和9年4月オープンを目指し、只今建築工事を鋭意進めております。昨年より体力の維持増進をはかる為キックボクシングジムに通い始め、土日は老体を癒す為に🔥巡りをする日々が1年経ちました。町の復興と農業復活に向けた一助に成るため、引き続き健康管理に努めます。

浪江町



おおたけ のりお
大竹 則男

- ①福島県(栃木県下野市)
- ②建設課
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

私は、東日本大震災以降の福島県が歩んできた道のりを見つめ続ける中で長期的な復興を次の世代につなぐ力になりたい。という強い思いを抱くようになりました。

特に、地域の暮らしや産業が少しずつ戻り人々が前向きに挑戦を続ける姿に触れるたび、福島の再生は、単なる災害から回復ではなく、新しい価値を創り出す未来志向の取り組みであると実感しています。その中で私は、復興の最前線に立つ自治体や地域の方々とともに生活基盤の整備、産業の再生、自然環境の保全など、福島が抱える課題に向き合い、具体的な解決策を形にしていきたいと考えています。その中で、新しい世代の方々の転入と新しい価値創造で自治体を活性化することが近々の課題と思慮します。

浪江町



いいざか としひろ
飯坂 利弘

- ①福島県(宮城県石巻市)
- ②建設課(道路事業)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町に来て早々に請戸川沿いのライトアップされた桜と大輪の花火を楽しませていただきました。

私は、今年の4月に建設課土木管理係に配属され、道路整備や復旧工事を担当しており、早期の復興・復旧の一助になれるよう取り組んで行きたいと思います。

仕事帰りには、道の駅での利き酒セットに癒され、土日は、仙台で家庭農園を楽しんでいます。よろしくをお願いします。

浪江町



しぶや のぶあき
渋谷 伸昭

- ①宮城県仙台市
- ②市街地整備課 整備係(浪江駅周辺整備事業)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

異動のタイミングだったことや、被災地へ派遣中の職員が周囲にいたことから、私も復興事業に携わりたいと考え、派遣を希望しました。

職場は、浪江駅や高速道路が近く交通アクセスに恵まれ、何より宿舎から徒歩圏内に居酒屋等がある素敵な就業環境です。

今年度より浪江駅周辺整備が本格化し、各工事間の調整など忙しくなりますが、復興整備が目に見えるこれからは本当に楽しみです。

浪江町



てらにし たつお
寺西 達生

- ①神奈川県（東京都町田市）
- ②住宅水道課住宅係
- ③令和4年4月4日～令和9年3月31日まで

前職では、岩手県職員として、陸前高田市に派遣され勤務しておりました。原発被害に遭った福島県の復興に対して、これまでの経験を活かして少しでもお役に立てればと考え、神奈川県任期付職員（被災地派遣）の採用募集に応募しました。

職場では、上司や同僚の方々に様々なご配慮を頂き、風通しが良く、非常に良い雰囲気です。

浜通りに暮らしはじめて4年になりますが、気候も穏やかで非常に暮らしやすいと感じています。

浪江町



こはた ひろゆき
木幡 弘幸

- ①神奈川県（神奈川県横浜市）
- ②住宅水道課（下水道担当）
- ③令和8年4月2日～令和9年3月31日まで

神奈川県から派遣され、浪江町住宅水道課で下水道を担当しています。

以前、東日本大震災の支援業務に携わった経験があり、今回、浪江町で仕事をさせていただく機会をいただきました。

微力ですが、浜通りの復興の一翼を担い、今まで経験してきたことを活かして、頑張りたいと思います。

久しぶりの野馬追を楽しみにしています。

浪江町



おちあい としひこ
落合 利彦

- ①千葉県松戸市（宮崎県宮崎市）
- ②生涯学習課（図書館、公民館に関すること）
- ③令和7年4月1日～令和9年3月31日まで

震災のときは松戸市で勤務中でした。いつか災害ボランティアには思っていたのですが、気後れしてあの時は叶いませんでした。

昨年度から着任し、瞬く間に一年が経ちました。浪江町での生活は当初は不便に感じましたが、今では慣れて特に不自由なく生活しています。

応援職員に興味のある方がいらっしゃいましたら、色々ハードルがあるかと思いますが、後先顧みずにとりあえず応募してみることをお勧めします。

あと1年、微力ながら町の復興に少しでも役立てるよう、私なりに尽力したいと思います。

浪江町



にしやま えいち
西山 英一

- ①福島県（福島県いわき市）
- ②市街地整備課（浪江駅周辺整備事業、景観計画推進）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

震災時の相双地区の現状を報道で見聞きしまして、復興はまだ道半ばということで、その一助となると思い、応募しました。

職場では、上司の方々に様々なご配慮をいただき、大変明るい雰囲気です。

担当した事業計画を少しでも推進し、町の復興が進むよう取り組んでいきたいと思っています。

浪江町



（ため池改修に係る地元説明会）

おりたて たかゆき
折館 孝之

- ①福島県（福島県福島市）
- ②農林水産課（ため池関係業務）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町への派遣は、今年で2年目となります。昨年度は、ため池除染の工事監理等の業務を担当しておりましたが、今年はため池改修設計等を主とした業務を担当しております。

今、浪江町は駅前再開発や福島国際研究教育機構の開発が進められており、日々、町の変化を感じているところです。1日も早く、昔以上の賑わいのある町となるよう私も復興業務に取り組んで行きたいと思っています。

浪江町



さとう ひろき
佐藤 大紀

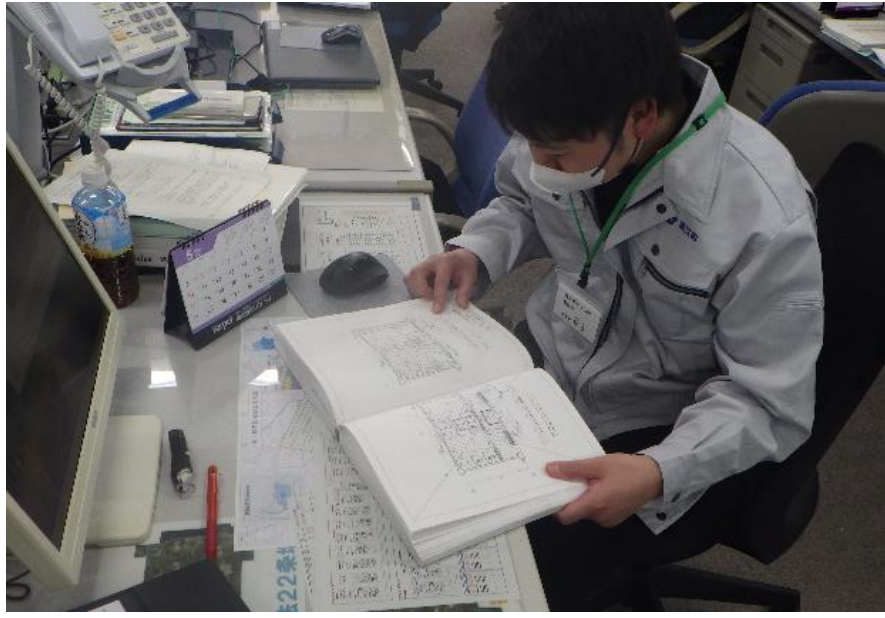
- ①埼玉県
- ②観光移住課
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町への派遣も2年目を迎え、浪江町が第二の故郷になりつつあります。

職場では他自治体や民間企業からの派遣など様々なバックボーンを持つ方と力を合わせて業務にあたっています。

プライベートでは派遣期間も折り返しを過ぎたので、今年度悔いのないよう福島県を満喫したいと思っています。

浪江町



すずき ともや
鈴木 智也

- ①福島県須賀川市
- ②建設課都市計画係
- ③令和8年4月1日～令和10年3月31日まで

今年の4月より須賀川市から派遣となり、浪江町の皆さんと一緒に仕事をさせていただくことになりました。これまで地元で培ってきた建築の知識を活かし、浪江町さんの復興まちづくりをお手伝いできることを大変光栄に思っています。

一步一步進むまちの姿を肌で感じながら、地域の皆様が安心して笑顔で暮らせる施設や住まいづくりに貢献したいです。浪江町の温かい魅力に触れながら、私自身も成長できるよう全力で励みます。どうぞよろしくお願いいたします。

浪江町



とよしま まさたか
豊島 将崇

- ①東京都新宿区
- ②産業振興課（再生可能エネルギーの推進 等）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

震災から復興へと力強く歩みを進める浪江町に惹かれ、微力ながらお役に立てればという思いで派遣を希望しました。

新たな環境での生活や、これまで経験したことのないエネルギー関係の業務など、不慣れなことも多いですが、職場や地域の皆様の温かい支えを力に変え、一つひとつの業務に誠心誠意取り組んでいきたいと思えます。

また、派遣期間中は、趣味の旅行を通じて、浪江町をはじめ、福島県の魅力をたくさん見つけたいと思います。

浪江町



たかばやし しゅうへい
高林 周平

- ①静岡県浜松市
- ②市街地整備課（多文化共生推進、用地交渉）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

更地が広がる駅前状況には衝撃を受けた一方、職員・町民の皆様は明るく、パワフルで日々圧倒されています。

休日は浪江町周辺を探索するのはもとより、東北地方の歌枕や謡躰などの名所旧跡巡りをしています。食は常磐ものの海の幸が美味しく、刺身や焼魚が食卓にのぼりがちです。

福島のお役に立てるよう努めるとともに、派遣元でも福島の実況、魅力を周りに伝えていきたいと思えます。

浪江町



つなしま ひろし
網島 弘

- ①神奈川県
- ②総務課管財係（町有地の貸借及び契約、行政財産の使用許可、分譲地の管理及び販売）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

令和5年4月から浪江町の復興業務に携わり、4年目を迎えました。

私の主な業務は、町有地の貸借や契約、分譲地の販売などであり、職員の皆様のご指導をいただきながら、日々奮闘しています。

復興業務を通じて、町の発展や地域の皆様の笑顔に少しでも貢献できることを誇りに思っています。

浪江町の未来を築いていくために、これからも一層精進し、皆様の期待に応える努力を続けていきたいと考えています。

浪江町



せき としあき
関 敏明

- ①神奈川県
- ②農林水産課農業土木係
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町派遣1年目です。町の復興や地域の皆さまの暮らしを支えるため、営農の再開に向けた取組に積極的に関わり、地域の農業復興の推進に努めてまいります。これらの活動を通じて、地域の皆さまのお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

浪江町



ひらいわ たつひこ
平岩 竜彦

- ①福島県（兵庫県姫路市）
- ②農林水産課（営農再開に向けた取組）
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

2025年3月の定年退職まで、建設コンサルタント会社に34年間勤めていました。仙台支店勤務中に東日本大震災に遭い、震災直後から宮城県仙台・名取市沿岸部や福島県西郷村の西郷ダム等を中心に応急復旧・復興に携わりました。震災を経験した技術者、また福島で電力を利用していた者の務めとして、復興に関わりたいたいと考えました。

現在、営農再開に向け、水稻試験栽培、農地の整備、用水路設計等に従事しています。

浪江町



たかはし まこと
高橋 真

- ①神奈川県
- ②観光移住課
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町任期付き職員（2年間）から継続し、昨年4月からは神奈川県任期付き職員として浪江町役場で勤務しています。

もともとの住まいが隣の南相馬市であるため福島県としての印象については特にありませんが、浪江町では観光関係の業務を行っており、毎日変化に富み楽しく仕事を行っています。

浪江町



おおはし なおこ
大橋 直子

- ①神奈川県横浜市
- ②観光移住課移住推進係
- ③令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

双葉郡に在住していた友人から、被災当時の様子や浜通りの魅力を聞いていたことに加え、能登半島地震での短期派遣を経験し、少しでも福島県の復興に貢献したいと思い希望しました。

浪江町では、職場や地域の方々に温かく迎えていただき、仕事や生活にもすぐに慣れることができました。まだまだ福島県の広さに驚いていますが、豊かな自然や地域の魅力、美味しい食べ物を楽しみながら、精一杯努めていきたいと思っています。

浪江町



しまぎ しんご
嶋崎 真吾

- ①福島県（石川県金沢市）
- ②企画財政課情報統計係
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

38年間民間企業で勤務し、退職後に自宅のある神奈川県座間市の駅で福島県任期付き職員募集のポスターを見かけ興味を持ちました。東京都庁で開催された説明会に参加したところ、県職員の皆さんの温かく親切な対応に感銘を受け、この人たちと一緒に仕事をしたい!と思い応募しました。

土地も初めて、公務員としての仕事も初めてで40年ぶりの新入気分を満喫しています。一日も早くお役に立てるよう頑張ります。

浪江町



おが まさき
小賀 正樹

- ①神奈川県(兵庫県)
- ②農林水産課(農業土木係)
- ③令和7年4月1日～令和9年3月31日まで

おかげさまで、神奈川県からの派遣は2年目となりました。御礼申し上げます。

過日、帰還困難区域内に位置するため池調査の機会がありました。提体は笹が茂繁し、15年間の人が関与しない時間を感じました。しかしながら、近隣の水田や住居は除染を進め、復興の進捗も感じました。私が実施しているため池整備が農業復興の一助になればと思い、業務を進めています。

浪江町



たかはし りゅうた
高橋 竜太

- ①神奈川県川崎市(茨城県)
- ②市街地整備課(浪江駅周辺整備事業)
- ③令和7年9月1日～令和9年3月31日まで

H24～25年度に岩手県庁へ応援職員として赴任し、沿岸に災害公営住宅等を建設した経験があります。当時立ち入れなかった浪江町等の状況はずっと気になっていましたが、今回縁あってお手伝いすることになり、地域活性化施設、公営住宅、広場、駅舎等に建築職として関わっています。課の温かい皆さんに支えられ、一歩ずつ復興が進むように尽力していきます。

せっかく福島県に来ているので、プライベートでは温泉巡りやマラソン、スノーボード等の趣味を充実させ、楽しく過ごしていきたいです。

浪江町



てらやま のぶたか
寺山 信隆

- ①京都府京都市
- ②建設課都市計画係
- ③令和7年4月1日～令和9年3月31日まで

派遣の動機は、環境を変えたい。常磐線沿線に住みたい。

福島県の印象は、住みやすい。

派遣先の職場の雰囲気は、とても良い。

福島県でやってみたいことは、仕事で貢献する。

福島県で感じたこと気づいたことは、毎日が充実しています。

浪江町



いとう かおる
伊藤 薫

- ①福島県(神奈川県横浜市)
- ②健康保険課(母子保健業務)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

祖母の故郷で復興に携わりたいとの思いを強くし当県に転職しました。浪江町は3年目となりますが、職場の若い職員が頑張っている様子に頼もしさを感じるこの頃です!最近はこちらまでに得た知識や経験を伝えることも復興支援の一つかなと考えています。

忙しい職場ですが、みんなで支え合いながら公私ともに楽しく過ごしています。

友人たちに来県してもらい「常磐もの」をはじめ、相馬野馬追や大堀相馬焼、たまに会津まで足を延ばして福島の良いさをたくさん自慢しています。

浪江町



おかべ りんご
岡部 鈴瑚

- ①埼玉県
- ②産業振興課商工労働係(事業者支援)
- ③令和7年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町で過ごす1年目は仕事でも余暇時間でも初めてのチャレンジがたくさんあり、大変充実した日々でした。業務の中では、補助金審査など事務系の業務をこなしつつ、事業者支援施策の見直しや企画立案などの経験したことのない事業系の業務を担当し、難しさや面白さを感じています。

人生で初めて雪山や競馬場を訪れるなど、とても良い思い出になりました。

残りの1年もここでしかできない貴重な経験を積極的に吸収し、自分自身の成長に繋げていきます。

浪江町



あかばね いくお
赤羽 郁男

- ①神奈川県
- ②農林水産課農業土木係
(ほ場整備事業の合意形成、法手続き等)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

浪江町に派遣されて3年目になります。

浪江町はほ場整備(福島再生加速化交付金)事業を進めております。

業務内容は、ほ場整備事業に関する地元の合意形成とほ場整備に参加の同意徴集を行い、土地改良法に基づく法手続きを行っております。

ほ場整備事業が一部完了した箇所は作付けを行い、昨秋は大区画した農地に大型の農業機械で稲の刈り取りを行いました。

浪江町の復興に微力ではございますが尽力したいと思っております。

浪江町



たかぎ けいすけ
高木 啓輔

- ①千葉県成田市
- ②観光移住課(起業人材育成支援事業、イベント出展、地域おこし協力隊)
- ③令和7年4月1日～令和9年3月31日まで

派遣2年目を迎え、派遣職員や町職員、さらには地元の方にもフレンドリーに接していただき、公私ともに充実した生活を送っています。

充実した生活(おいしい食事・お酒、楽しい時間)と引きかえに増加した体重…のことは考えないようにしています。

また、浪江町の産品が成田市場を通じて海外に展開するなど、浪江町と成田市の連携も今まで以上に深まっています。これからも両自治体のために頑張っていきます!

飯舘村

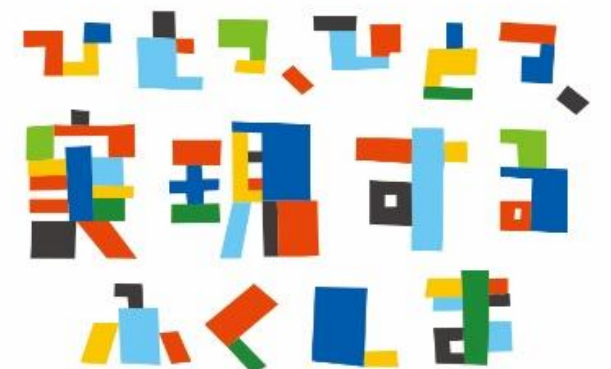


さとう ゆういち
佐藤 悠一

- ①福島県伊達市
- ②建設課(建築関連工事に係ること)
- ③令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

今年度から応援職員として伊達市から参りました。飯舘村は自然が豊かなだけでなく、風景がとても美しく、毎日癒されながら通勤しています。新たな環境で働くということで不安もありましたが、職場では普段からたくさんの方に声をかけていただき、とても楽しく働かせていただいております。

業務外では、飯舘村野球部に参加させていただき、適度な運動と交流を深めつつ、休日には家族で飯舘村の施設やイベントを楽しんでいきたいと思っています。



●令和7年度●

大熊町

令和7年6月10日に帰還困難区域内を通る町道東67号線が開通しました。特別通過交通制度(※1)での通行となります。

双葉町

特定帰還居住区域(※2)のうち、令和7年11月4日に下長塚、三字、羽鳥行政区にあたる区域、令和8年2月16日に羽鳥行政区にあたる区域の一部において立入規制が緩和されました。

浪江町

令和7年11月22日、23日「なみえ町十日市祭」が、15年ぶりに震災前と同じ新町通りを会場に開催されました。(表紙写真)

富岡町

令和8年2月13日 特定帰還居住区域(※2) に55ヘクタールが追加されました。

※1「特別通過交通制度」

帰還困難区域にある道路について、通行証を不要とする区間を設定し、その区間を自由に通行できるようにする制度。

※2「特定帰還居住区域」

将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域(特定復興再生拠点区域を除く。)に、2020年代をかけて帰還意向のある住民が帰還できるよう、必要な箇所の除染を進め、避難指示を解除し、住民の帰還・居住を可能とするものとして定められる区域。(環境省 除染情報サイトより)